

2012年12月吉日

報道関係各位

都道府県対抗・学生観光PRアワード実行委員会

学生のチカラで日本を元気に！
都道府県対抗
第1回
学生観光PRアワード

全国47都道府県・61大学のミスキャンパス候補者が
方言で「おらが街」を国内外にPRする企画

<学生のチカラで日本を元気に！>

「第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」の参加者を代表し、

2012年の、ミス慶應、ミスソフィア、ミス東大が観光庁を訪問！

全国47都道府県のミスキャンパス候補者等(全国61大学)が、方言で「おらが街」を国内外にPRする企画として現在展開中の「学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」(略称：ガクチカ観光PRアワード (<http://www.misscampus.net/kankoaward/>))(註)の参加者を代表し、2012年の、ミス慶應、ミスソフィア、ミス東大等が、観光庁を訪問し、井手観光庁長官等と面談しました。

今回観光庁を訪問したのは、2012年ミス慶應 小澤 陽子、2012年ミスソフィア(上智大学)鳥部 万里子、2012年ミス東大 徳川 詩織と、各大学のミスキャンパス実行委員会で、全国47都道府県のミスキャンパス候補者等(全国61大学)約180人が参加する、「ガクチカ観光PRアワード」の参加者を代表し、本アワードの後援と観光庁長官賞の授与など、観光庁井手長官、瀧本観光地域振興部長への御礼を行いました。井手長官から、学生の力で日本を元気にする取り組みへの激励のお言葉を頂くとともに、観光庁総務課・大野企画室長と「日本の観光への学生としての貢献」を主要なテーマに対談を行いました。

ガクチカ観光PRアワード公式サイト (<http://www.misscampus.net/kankoaward/>)では、ミス慶應、ミスソフィア、ミス東大の観光庁訪問後のインタビューも掲載しております。

本アワードを通じて、【学生のチカラで、日本の元気に】を合言葉に、日本の47都道府県の地域の魅力を発信することで、国内観光の活性化への貢献を目指して参ります。



前列：左から、ミスソフィア・鳥部万里子、井手長官、瀧本観光地域振興部長、ミス慶應・小澤陽子

後列：左から、ミス東大・徳川詩織、ミス東大実行委員・下前賢司郎、ミスソフィア実行委員・八重樫りえ、ミス慶應実行委員・上田勇一、本アワード学生事務局長・廣田雄将、東京情報大学、本アワード実行委員長・山下静香



左から、ミス東大・徳川詩織、ミスソフィア・鳥部万里子、井手長官、瀧本観光地域振興部長、ミス慶應・小澤陽子

<ミスキャンパスプロフィール>

「ミス慶應 2012」 小澤 陽子（慶應義塾大学 環境情報学部環境情報学科 3年）



「ミスソフィア 2012」 鳥部 万里子（上智大学 外国語学部ドイツ語学科 4年）



「ミス東大 2012」 徳川 詩織（東京大学 教養学部前期課程文科 3類 2年）



<観光庁総務課・大野企画室長との対談内容>

【ミスソフィア 2012 鳥部 万里子】

東日本大震災後の東北地域の復興に当たっては、観光が大きな役割を果たすと思います。観光庁が手がける震災後の復興に向けた取組について教えてください。

【観光庁 総務課 大野企画室長】

宿泊者数全体としては回復傾向にありますが、東北地域をはじめ、まだまだ厳しい地域もあります。

そういう中で観光庁では、東北地域全体を一種の博覧会会場と見立てた「東北観光博 (<http://www.visitjapan-tohoku.org/>)」や、いろいろな形で東北・北関東に訪問していただくことで復興を応援するという「東北・北関東への訪問運動 (<http://www.mlit.go.jp/kankocho/fukkou-shien/>)」を進めています。また、東北・北関東地域の訪日外国人旅行者数の回復に向け、中国・韓国等における商談会やプロモーションを実施するとともに、口コミで日本の「安全・安心」や「魅力」を伝えていただくべく、訪日外国人の方を対象としたSNSと連動したフォトコンテスト (Share your WOW! -Japan Photo Contest- (<https://japanphotocontest.jp/eng/>)) などの取組を進めています。

【ミス慶応 2012 小澤 陽子】

東日本大震災後のインバウンド (訪日外国人旅行者) の回復状況はいかがでしょうか。最近の日中関係が悪影響を与えているという話も聞きますが、インバウンドの現状と観光庁の取組について教えてください。

【観光庁 総務課 大野企画室長】

震災の影響で落ち込んだ訪日観光需要の回復に向け様々な取組をしてきた結果、6月には震災前との比較で初めてプラスになるなど次第に結果が出てきていたのですが、その牽引役となっていた中国からの観光客が9月以降落ち込んでしまったため、少し足踏みしてしまいました。しかし、この11月には中国以外の東南アジアをはじめとする国々が伸びたおかげで再度震災前に比べてプラスに転じました。

今後も、中国向けの働きかけを継続するとともに、中国以外の東南アジア等の国々にもしっかりと取り組むことで、政治状況等に関係なく多くの観光客の方々に来ていただけるようにしていきたいと考えています。

【ミス東大 2012 徳川 詩織】

最近MICE (マイス) という言葉を何度か耳にしました。MICEについて詳しく教えてください。

【観光庁 総務課 大野企画室長】

Mは Meeting、企業等のミーティング等。Iは Incentive、企業報奨・研修旅行。Cは Convention、国際会議等。Eは Exhibition とか Event で展示会とかスポーツイベント等。これら外国人の方々にとまって来ていただけるような機会を、総称してそう呼んでいます。MICEは経済効果が高く、諸外国でも戦略的に誘致を進めており、日本としても積極的に誘致を推進していきたいと思っています。日本は20年前にはアジアの半分のシェアを占めていたのですが、今では中国等に押されて2割程度に落ちてきていますので、しっかり取り組んでいきたいと考えています。

【ミスソフィア 2012 鳥部 万里子】

今回の都道府県対抗・学生観光PRアワードでは、各大学で選ばれたミスキャンパスなど、47都道府県の代表がSNS (Google+) 上で各地域の観光PRを競い、優秀者が2月に行われるミスキャンパスサミットでアジアの学生にもPRできることになっています。地域の観光活性化の観点で、学生観光PRアワードにどのような意義を感じておられますか？

【観光庁 総務課 大野企画室長】

今や口コミの影響力は大変大きいものがあり、その意味でSNSを活用して、こういう形で日本国内、海外を含めて観光地の魅力をアピールしていただけるというのは、我々としても大変有難いと感じています。また、観光庁の宿泊・旅行統計調査によると、日帰り・宿泊旅行など全くしない人の割合が50%を超えており、特に若い人が旅行しなくなっている傾向があるということなので、ミスキャンパスの方々の若い目線で各観光地をアピールしていただくことにより、若い皆さんの旅行の促進につながればと期待しています。

【学生観光PRアワード実行委員長 山下静香】

「学生観光PRアワード」は、「学生のチカラで日本を元気に」することを目標に全国で61大学の学生が参加しています。「学生観光PRアワード」に参加する、全国の学生にメッセージを頂けるとありがたいのですが。

【観光庁 総務課 大野企画室長】

日本が元気になるにはやっぱり若い方の力が必要だと思っているので、これだけ多くの学生の方が、日本を元気に、という目標に向けて活動を起こしてもらっているというのは、我々大人の世代から見ても頼もしいと感じています。若い皆さんにはそれだけの力があると思いますので、是非今後とも自分の思いに限界をつくらず、こういったイベントに積極的に参加するなど、我々の世代では出来ないようなことに幅広く取り組んでいただきたいと思います。

【ミス慶応2012 小澤 陽子】

「学生観光PRアワード」や「ミスキャンパスサミット」を通じて、私たちは、アジアの学生との交流・親善や、地域の活性化など、大学の枠を超えて、社会に貢献できる取り組みに参加したいと考えています。私たちに期待されることがあれば教えてください。

【観光庁 総務課 大野企画室長】

ミスキャンパスに選ばれている皆さんは、外見だけでなく内面も含めて人を引きつける魅力を持っている方々だと思います。観光の仕事をしていて感じるのは、地域の活性化も含めて何かを成し遂げるのは結局「人」の力だということです。是非皆さんには、その人を引き付ける魅力を最大限に活かして、いろいろな人を巻き込んで、新しいことを成し遂げていく「人」の集まりの中心になっていただきたい。そういう存在になってほしいと思います。期待しています！

【ミス慶應実行委員会（慶應広告学研究会・上田勇一）】

現在、海外旅行に行く方が多く感じており、国内で旅行する人が減ってきているように感じていますが、実際そうなのでしょうか？

【観光庁 総務課 大野企画室長】

円高もあってか海外旅行に行く方は増加傾向にありますが、国内旅行については年間平均宿泊数が低下傾向にあるなど課題を抱えています。そのため、例えば日本の観光地それぞれの魅力を高めるための支援を行ったり、また、旅行に行ってもらうためにはまず休みをとってもらわなければ、ということで「ポジティブ・オフ」という休暇取得促進に向けた運動を推進し、様々な企業に働きかけるなどの取組を進めています。

【ミス慶應実行委員会（東大広告研究会代表・下前賢司郎）】

海外からきた方の日本のリピート率はどのなのでしょう？

【観光庁 総務課 大野企画室長】

主要な国では、例えば韓国からのお客さんはリピーターの方が多くなっています。それに対して、中国のお客さんは初めてのお客さんが多くなっており、いわゆるゴールデンルートと言われる東京から富士山を經由して京都を廻るという団体旅行をするケースが典型的なパターンになっているようです。今後は、中国の方々のリピーターも増やしていけるような取組を進めていきたいと考えています。

【観光PRアワード学生事務局長（関西大学4年）・廣田雄将】

韓国、中国以外にも海外で力を入れているところはありますか？

【観光庁 総務課 大野企画室長】

韓国、中国、台湾、香港のお客様だけで日本に来ている訪日外国人観光客のおよそ3分の2を占めています。ただ、これらの国だけに頼っていると、今回のように二国間関係に摩擦が生じた際に訪日外国人観光客の数が大きく下がってしまったりするので、東南アジアをはじめとしたその他の国々にも力を入れていきたいと考えています。

【ミス東大2012 徳川 詩織】

最後に全国の学生へ向けてメッセージをお願いいたします。

【観光庁 総務課 大野企画室長】

是非積極的に旅行してください！そして東北を訪問して下さい！よろしくお祈りします！

(註)「学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」について

本イベントは、現在の閉塞感漂う日本において、将来を担う学生が、自分が通う大学がある町、市、県、地域の活性化に少しでも寄与しようと立ち上がったもので、学生世代の元気の象徴として、各大学の47都道府県のミスキャンパスイベント出場者が、地元の観光PRを、地元言葉(方言)で行い、学生視点の新たな日本の魅力の発見・発信と、地域観光への寄与することを目指しております。尚、本イベントの開催にあたっては、観光庁の後援が決定しており、外務省、経済産業省、文部科学省と、47都道府県の後援も予定しております(12月25日現在、26府県の後援が決定)。

また、全国の自治体や参加大学、学生からの要望により、当初予定していた開催期間(2012年10月～12月)を、2013年2月まで延長して開催することが決定いたしました。

「学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」は、全国47都道府県のミスキャンパス候補者(全国60大学)が、Google+とYouTubeや学園祭のステージ上で、各地域の観光活性化につながる「地元の観光PR」や「とっておきのおススメ観光プラン」等を地元言葉(方言)でプレゼンします。

投稿は各候補者の「Google+」アカウント上で行われ、候補者の投稿に対する「+1」による応援投票を行います。「+1」とは投稿に対しての共感や応援、おすそめを意味します。

本アワードは、「個人戦」と「団体戦」で構成され、個人戦は、各ミスキャンパス候補者の投稿に対して行われた「+1」と「再共有」の数などを参考に本実行委員会が評価し、各都道府県ごとに、評価が最も高かったミスキャンパス候補者には「都道府県・学生観光PRアワード賞」が贈られ、イベント終了後も、地元の観光情報を発信する「ガクチカ観光アワード親善大使」として、地域活性化に貢献致します。また、YouTube上に地域活性化専門チャンネル「地活TV」を開設し、活動の様態を配信していく予定です。

また、団体戦は、個人戦と同様の評価方法で、大学単位での評価の高かった上位10大学による決勝戦を開催し、各大学の代表(ミスキャンパス)によるプレゼンテーションにより、観光庁長官賞が決定します。

本アワードを通じて、【学生のチカラで、日本の元気に】を合言葉に、日本の47都道府県の地域の魅力を発信することで、国内観光の活性化への貢献を目指して参ります。

「学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」 開催概要

- 名称：<学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード>
- URL：<http://www.misscampus.net/kankoaward/>
- 略称：<ガクチカ観光PRアワード>
- 開催日時：都道府県対抗戦：2012年10月～2013年1月
決勝戦：2013年2月23日(土)
- 開催場所：各大学キャンパスでの学園祭及びWEB
決勝戦会場：東京情報大学・千葉ステーションキャンパス
- 主催：学生のチカラで日本を元気に！都道府県対抗・学生観光PRアワード実行委員会
- 企画運営：都道府県対抗・学生観光PRアワード運営事務局
- 参加大学：北海道大学、秋田大学、東北学院大学、山形大学、茨城大学、群馬大学、東京大学、慶応義塾大学、上智大学、青山学院大学、立教大学、学習院大学、明治学院大学、中央大学、専修大学、成蹊大学、國學院大学、横浜国立大学、横浜国立大学、千葉大学、東洋大学、獨協大学、信州大学、名城大学、皇学館大学、静岡大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、金沢大学、岡山大学、広島大学、鳥取大学、島根大学、下関市立大学、高松大学、徳島大学、松山大学、高知大学、福岡大学、長崎大学、大分大学、熊本県立大学、佐賀大学 他、全国から61大学が参加。
- 特別後援：CampusNavi、5L、地活NEWS
- 後援：観光庁、外務省(予定)、経済産業省(申請中)、文部科学省(申請中)、岩手

県、秋田県、福島県、群馬県、埼玉県、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、静岡県、三重県、京都府、兵庫県、奈良県、鳥取県、岡山県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、熊本県、長崎県、鹿児島県、沖縄県、その他 21 都道府県（予定） 他

- 課 題：＜あなたなら、地元の観光の魅力をどう語りますか？＞
あなたの地元の観光活性化につながる「地元の観光 PR」または「とっておきのおススメ観光プラン」を地元の言葉（方言）で行なってください。

- スケジュール

- ◆2012年8月中旬～：参加大学募集開始（大学学生課・大学学園祭実行委員会への通知）

- ◆2012年10月6日より順次スタート＜ Web 上での公開・発表＞

www.misscampus.net/kankoaward

↓
Google+上に約300名のミスキャンパス候補者のアカウントを開設。Google+で投稿開始。

↓
2013年1月31日までの投稿実施。各都道府県の個人・大学単位での評価を実施。

↓
2013年2月10日 「都道府県・学生観光PRアワード賞」の発表（各都道府県で1名）。
決勝進出の10大学を発表。※但し、同一都道府県では3大学まで。

↓
2013年2月23日 決勝戦：決勝進出の10大学のミスキャンパスによるプレゼンテーションで観光庁長官賞を決定。※審査員の審査により決定。

- ＜学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード＞
コンテストフレーム

学生チカラで日本を元気に！
都道府県対抗
第1回
学生観光PRアワード

【審査結果】

【都道府県代表(個人戦審査結果)】

「+1」と「再共有」の数などを参考に、各都道府県で個人戦としてのGPを47名選考し、ガクチカ観光アワード親善大使を授与。

【決勝進出大学(団体戦審査結果)】

※上位10大学を選考

「+1」と「再共有」の数などを参考に、上位10大学を選考し、決勝戦へ進出権授与。



YouTube



地活NEWS

【各都道府県のガクチカ観光アワード観光大使が、地活TVのキャスターに】
2013年2月から2013年9月までキャスターとして、「Google+」「YouTube」等で観光情報を配信・レポート。
※YouTube上に地域活性化専門チャンネル「地活TV」を開設



【グランプリ・最終審査結果】

2013年2月23日(土)に東京情報大学の千葉ステーションキャンパスで開催されるミスキャンパスサミットの会場で、決勝戦(グランプリ選考会)を開催し、第一回のグランプリを選考。

●投稿イメージ

●観光PRアワードプレゼン(投稿)イメージ



●●大学の○○です。
鳥取の魅力の一つは
おいしい魚、カニです！！
今日は鳥取のおいしい
海の幸を紹介します！！



ということで、
鳥取市内からも近い
市場「かろいち」にきま
ました！ここは観光局に
も地元の人にも
人気ダッチャ！



鳥取の名産品がずらり
と並んでいます！
なんといっても冬は
カニです。
お店で買うよりずっと
安いダガ！



そして日本海と言え
ぶり！



それとっておきの鳥
取名物「もさえび」です。
甘エビより断然甘くて
一度食べたら忘れらん
ゾナー！



バナナリマシタ～
やさしいおばさん
が、なんと試食さ
せてくれます！



えれえ、うんめ～
鳥取に生まれて
幸せゾナ！



各地域の方言を使用した観光紹介・観光プラン



市場で海産物のお土
産を買った後では是非
行ってほしいのが、浦
富海岸のごはんと遊
覧船ゾナー！



名物の「ジオ定食」！
市場にあった、もさえ
びが入ってます！そし
てカニ汁つきで、鳥取
の海の幸が満載ダッ
チャ！



さっそく、いただきま
す！



えれえ、うんめ～
思わず本気食いです！



最後は遊覧船
でカモメとあそ
びましょう！
私のおススメ
鳥取観光プラン、是非試して
みてください！

■本件に関するお問い合わせ先

〒107-0062 東京都港区南青山 4-18-21-313 Gmholdings(株)青山事務所内
学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード実行委員会
TEL. 03-5775-0666 FAX. 03-5775-0672
Mail: kankou.pr.award@gmail.com